

森林資源・森林吸収量算定基礎調査事業のうち 森林吸収源インベントリ情報整備事業（継続）

【令和5年度予算概算決定額 247,474（258,075）千円】

<対策のポイント>

途上国を含めた全てのパリ協定締約国が提出するNDC（自国が決定する貢献）の削減目標達成に向けた条約事務局への報告を行うため、**森林吸収量の報告に必要なデータを収集・分析するとともに、2050年カーボンニュートラルに向けた森林吸収量の算定精度の向上や効率化等**に取り組みます。

<事業目標>

国連気候変動枠組条約並びにパリ協定に基づく森林吸収量の適切な報告（条約事務局報告、吸収量算定の精度の向上・効率化、審査対応等への活用・反映）

<事業の内容>

1. 森林吸収量算定のための基礎データの収集・分析

森林吸収量の算定・報告のために以下の基礎データの収集・分析を実施します。

- 衛星画像等による土地利用変化の把握
- 「森林経営」対象森林の率の把握
- 土壌等の炭素蓄積変化量の把握
- 伐採木材製品（HWP）における炭素蓄積変化量の把握

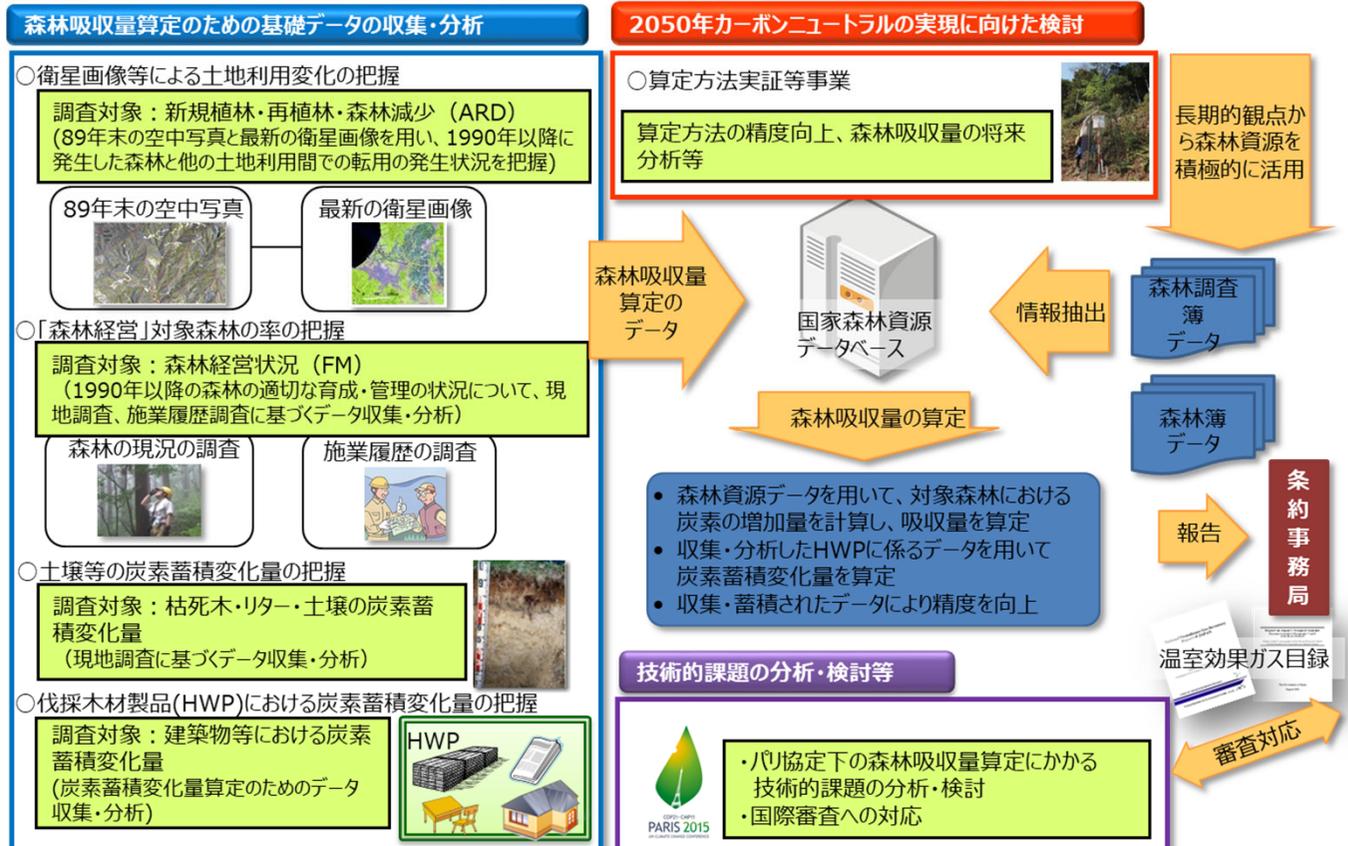
2. パリ協定における技術的課題の分析・検討等

- パリ協定下の森林吸収量算定にかかる技術的課題の分析・検討、及び国際審査等での指摘事項への対応策の検討を行います。

3. 算定方法実証等事業

- 2050年カーボンニュートラルに貢献するため、森林吸収量の算定手法の分析・検証・改良、2050年に向けた超長期シミュレーション予測等を実施する。

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 HWP以外 林野庁森林利用課（03-3502-8240）
HWPのみ 林野庁木材産業課（03-6744-2295）